

# 法令 No.8 使用者等の義務②

## 第53回(2008年)

問25 合併等に関する次の文章の( A )～( C )に該当する語句について、放射線障害防止法上定められているものの組合せは、下記の選択肢のうちどれか。

「許可使用者である法人の合併の場合(許可使用者である法人と許可使用者でない法人とが合併する場合において、許可使用者である法人が存続するときを除く。)又は分割の場合(当該許可に係るすべての放射性同位元素及び放射性同位元素によって汚染された物又は当該許可に係る( A )並びに( B )等を一体として承継させる場合に限る。)において、当該合併又は分割について文部科学大臣の( C )を受けたときは、合併後存続する法人若しくは合併により設立された法人又は分割により当該放射性同位元素及び放射性同位元素によって汚染された物若しくは( A )並びに( B )等を一体として承継した法人は、許可使用者の地位を承継する。」

	( A )	( B )	( C )
①	放射線発生装置	使用施設	認可
2	放射線発生装置	放射線施設	認可
3	放射性同位元素装備機器	貯蔵施設	許可
4	放射性同位元素装備機器	使用施設	許可
5	放射性同位元素装備機器	放射線施設	許可

問26 許可使用者に係る許可の取消し、使用の廃止等に伴う措置に関する次の記述のうち、放射線障害防止法上定められているものの組合せはどれか。

- A その所有する放射性同位元素を許可届出使用者、届出販売業者、届出賃貸業者若しくは許可廃棄業者に譲り渡し、又は廃棄すること。
- B その借り受けている放射性同位元素を許可届出使用者、届出販売業者、届出賃貸業者又は許可廃棄業者に返還すること。
- C 放射性同位元素による汚染を除去すること。
- D 放射性同位元素によって汚染された物を許可廃棄業者に譲り渡し、又は廃棄すること。

1 ABCのみ 2 ABDのみ 3 ACDのみ 4 BCDのみ ⑤ ABCDすべて

問27 所持の制限に関する次の記述のうち、放射線障害防止法上正しいものの組合せはどれか。

- A 許可使用者は、その許可証に記載された種類の放射性同位元素をその許可証に記載された貯蔵施設の貯蔵能力の範囲内で所持することができる。
- B 許可使用者から放射性同位元素の運搬を委託された者は、その委託を受けた放射性同位元素を、委託を受けた日から荷受人に引き渡すまでの間、所持することができる。
- C 届出販売業者は、放射性同位元素の運搬を委託された場合にあっては、その届け出た種類の放射性同位元素以外であっても、運搬のために所持することができる。
- D 許可廃棄業者は、その許可証に記載された廃棄物貯蔵施設の貯蔵能力の範囲内で所持することができる。

1 ABCのみ ② ABDのみ 3 ACDのみ 4 BCDのみ 5 ABCDすべて

問28 危険時の措置等に関する次の記述のうち、放射線障害防止法上正しいものの組合せはどれか。

- A 放射線障害を防止する必要があったので、放射線施設の内部にいる者又は放射線施設の付近にいる者に避難するよう警告した。
- B 許可使用者は、放射線施設内で火災が起こったので、消火に努めるとともに直ちに、その旨を消防署に通報した。
- C 届出使用者が、その所持する放射性同位元素に所在が不明となっているものがあることに気付き、10日間探したが発見できなかったため、直ちに、文部科学大臣に報告した。
- D 放射線業務従事者が実効線量限度を超えて被ばくしたおそれがあったので、放射線障害の発生が確認されたときに、文部科学大臣に報告することにした。

① AとB 2 AとC 3 AとD 4 BとC 5 BとD